

a ミッション	世羅町の義務教育の中軸を担い、児童も、保護者も、教職員も「世羅小でよかった」と感じる学校にする。	a ビジョン	【校訓】 夢抱き たくましく世羅を創る 【学校教育目標】 自ら考え 自ら学ぶ児童の育成
---------	--	--------	--

世羅町立世羅小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標	c 短期経営目標 (単年度計画)	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
基礎学力の定着	算数科の授業において、根拠を基に、自分の言葉で表現できるような授業を展開する。	①算数科の授業展開において、練り合いの時間の充実を図る。 ②児童が自らまとめを創り出す過程を重視した授業づくりを組織的に進める。	①算数科の学期末テストの結果において標準得点を上回る児童の割合。 ②児童アンケートの肯定的回答「図や式、言葉などを使って、理由(根拠)を説明できた。」 ③教師アンケートの肯定的回答「児童に算数用語を使ってまとめを書かせる授業が展開できた。」	① 70% ②③ 90%										
人を大切にしている心と態度の醸成	自己肯定感を高め、自分や人を大切にする児童を育てる。	規範意識を醸成し、自分や他者を大切にできるよう積極的な生徒指導を実践する。	①「時を守る」「場を清める」指導の具体的基準を共有し、全教職員が足並みを揃えて指導を行う。 ②「礼を正す」ができていない姿を教師が能動的に見つけ、クラスや校内で共有、称賛することで、児童の自己有用感を高める。 ③「礼を正す」児童アンケート「自分から先に挨拶をして『やっぴよよかった』と感じた」において肯定的回答85%以上。	① 95% ② 95%										
たくましい心と体の育成	主体的に健康づくりと体力づくりをする児童を育てる。	課題意識をもって体力づくりをするとともに、危機予測・回避能力の育成をする。	①本校の課題である「長座体前屈」について、各学年の全国平均と児童一人一人に前年度の自己記録を提示することで、全国平均更新への意欲を高める。 ②体育の準備運動で柔軟運動を重点的にを行う。また、家庭学習にも柔軟運動を取り入れる。 ③関係機関と連携し避難訓練を実施する。 ④引き渡し訓練を実施する。 ⑤マイタイムラインを作成する。	「長座体前屈」の数値が全国平均を超える児童の割合 70%										
働き方改革の実現	業務改善と教育の質の確保を両立させる。	働き方改革によって、授業等の質を高めることで、一人一人の児童が安心して伸び伸びと力が発揮でき、保護者が行かせたいと思える学校を創る。	①週時程を工夫し、児童と向き合う時間や放課後の時間を確保することで、児童理解や教材研究、分掌の仕事を行う時間において、授業や活動の質を高める。 ②日頃から保護者連携を行い、学校の教育活動への理解を深めるとともに、学校教育に対する信頼を得られるようにする。 学期末保護者アンケートの①「先生は、分りやすく子どもたちに教えている」②「お子さんを世羅小学校に通わせて良かったと思う」の項目における肯定的評価の割合	① 85% ② 85%										